

# えべつ 市議会だより

令和7年5月1日発行

## No.161

発行 江別市議会  
江別市高砂町6番地  
電話(011)381-1051  
編集 議会広報広聴委員会  
印刷 江別印刷業協同組合

NO! ハラスメント!

## 議員活動におけるハラスメント研修を開催

～1月27日（一社）札幌経済交流・留学生支援機構理事長 吉田博氏を講師に迎え議員全員で受講しました～



◇令和7年第1回定例会の概要	P2～3
◇特集 令和7年度の予算審査	P4～5
◇10人が登壇 一般質問	P6～11
◇特集「議会だより」のリニューアル	P11
◇活動状況をお知らせ 委員会のページ	P12

### 次期定例会の開催予定

- 第2回定例会  
6月10日～6月25日
- 各委員会  
6月11日～6月16日
- 一般質問  
6月18日～6月20日

※日程は予定です。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会ホームページ <https://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/site/gikai/>

ホームページでは、議案等に対する各議員の賛否の状況や会議録(本会議・各委員会)など、議会の情報が御覧になれます。また、江別市議会フェイスブックでも、議会の最新情報を発信しておりますので、こちらもぜひ御覧ください。



江別市議会  
ホームページ

障がいのある方のための、点字とCDによる「えべつ市議会だより」もあります。  
また、ホームページに音声データをアップしております。

詳細障がい福祉課障がい福祉係 ☎(011)381-1031

第1回定例会は2月20日から3月24日まで33日間の会期で開かれました。

令和7年  
第1回

# 定例会

- 議案27件(令和7年度一般会計予算など)
- 意見書案2件
- 陳情1件
- 報告7件

主な議案の内容についてお知らせします。

## 条例

### ◎国民健康保険税条例の一部改正

北海道へ支払う国保事業費納付金の財源を確保するため、税額の改定を行うほか、地方税法施行令の一部改正により、昨年4月に課税限度額が引き上げられたことを受け、必要な改正を行うもので、本議案は、多数により原案のとおり可決されました。

### ◎市営住宅条例の一部改正

単身高齢者の増加などの昨今の公営住宅を取り巻く状況などを踏まえ、住宅困窮者に対するさらなる配慮が必要との観点から、市営住宅入居時の連帯保証人制度を廃止するため、必要な改正を行うもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

### ◎市職員の給与に関する条例等の一部改正

人事院勧告に準拠して、一般職の職員の給料月額を平均3%、期末・勤勉手当を0.1月分、寒冷地

手当の月額を11.3%それぞれ引き上げるほか、一般職の職員と同様に、議員と特別職の期末手当を0.1月分引き上げるなど、必要な改正を行うもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

## 一般議案

### ◎消防通信指令事務の委託

札幌圏6消防本部の自治体で構成される消防通信指令業務の共同運用を開始するため、消防通信指令事務を札幌市へ委託するもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

## 予算

### ◎令和7年度各会計予算

一般会計のほか、4特別会計と3企業会計予算が可決されました。審査経過など詳しくは、4ページと5ページを御覧ください。

### ◎一般会計補正予算(第7号)

原油価格・物価高騰対策のほか、

国等の予算動向による変更、歳入・歳出の決算見込み、緊急を要するものへの措置として、病院事業会計への貸付金や障害者自立支援給付費の追加などにより、55億6千343万3千円を増額し、予算総額は、607億1千671万4千円になるもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

### ◎病院事業会計補正予算(第3号)

運転資金不足への対応として、一般会計から4億円の長期資金の借入れを行うほか、人事院勧告に準拠した給与改定の実施などのため、1億937万2千円を増額し、予算総額は、76億1千421万4千円になるもので、本議案は、多数により原案のとおり可決されました。

## 陳情

### ■みなし不採択となった陳情

◎市民に負担を強いる国民健康保険税の引上げに反対することに  
ついて

江別市生活と健康を守る会  
会長 鹿島敏夫氏

PICKUP

物価高騰対策予算を  
臨時会で可決！

令和7年第1回臨時会

(1月16日)

物価高騰対策を早急に実施するため、第1回臨時会が開催されました。

議案の内容は、次のとおりです。

◎ 一般会計補正予算(第6号)

物価高騰の影響を受ける住民税非課税世帯の生活を支援するため、1世帯当たり3万円の給付に要する経費のほか、18歳以下の子ども1人につき1万円分のギフトカードを配付する経費の追加などにより、10億1千239万2千円を増額し、予算総額は、551億5千328万1千円になるもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

そのほか第1回定例会に提出された議案



議案・議決結果・賛否の状況については、江別市議会ホームページで公開しております。

件名	議決結果
財産の無償貸付	原案可決(全員一致)
市道路線の認定及び変更	原案可決(全員一致)
刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	原案可決(全員一致)
移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決(全員一致)
市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び市職員の育児休業等に関する条例の一部改正	原案可決(全員一致)
手数料条例の一部改正	原案可決(全員一致)
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決(全員一致)
水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部改正	原案可決(全員一致)
水道事業に係る布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例等の一部改正	原案可決(全員一致)
介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全員一致)
水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決(全員一致)
下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決(全員一致)
市議会の個人情報保護に関する条例の一部改正	原案可決(全員一致)
性犯罪の再犯防止に関する取組への支援の強化を求める意見書	原案可決(全員一致)
小・中学校における学校給食の無償化を求める意見書	原案可決(全員一致)
江別振興公社の令和7年度事業計画に関する書類	報告済
スポーツ振興財団の令和7年度事業計画に関する書類	報告済
フラワーテクニカえべつの令和7年度事業計画に関する書類	報告済

# 令和7年度 予算審査

令和7年度の一般会計ほか、特別会計、企業会計の8件の予算案は、第1回定例会初日に予算決算常任委員会に付託され、3月7日から6日間にわたって審査を行った後、定例会最終日に採決されました。全ての予算について原案のとおり可決されました。

## 各会計予算額

(単位 千円、%)

区分	令和6年度(当初)	令和7年度	増減	増減率
一般会計	52,620,000	58,790,000	6,170,000	11.7
特別会計	25,778,000	26,544,000	766,000	3.0
企業会計	18,032,759	18,767,515	734,756	4.1
全会計	96,430,759	104,101,515	7,670,756	8.0

- ・一般会計の令和7年度の予算額は、対前年度当初比11.7%増の587億9,000万円となりました。
- ・全会計の令和7年度の予算額は、対前年度当初比8.0%増の1,041億151万5千円となりました。

## 討論概要

予算決算常任委員会において、各会計予算案に対して、賛成の立場の委員と反対の立場の委員の討論が行われましたので、概要をお知らせします。

### 一般会計予算

#### 賛成

・子どもの居場所づくり支援事業は、子ども食堂への補助を対象とした新規事業であり、対象団体においては支援が必要な子どもの把握が補助要件の一つにあるなど、子どものセーフティーゾーンの広がりにつながると考える。今後は、子ども食堂だけにとどまらず、対象の拡大も視野に入れていくとのことであり、子どもの居場所の充実に期待する。

・医療的ケア児等受入・レスパイト促進事業について、医療的ケア児の介助を行う家族のレスパイトを目的として、医療保険の上限を超える訪問看護の利用に対する助成制度が新設されたことは、自宅以外の学校や外出先などでも支援を受けられ、保護者が不在の長時間支援にも対応できる取組であり、大いに評価する。引き続き、医療的ケア児とその保護者への支援体制の拡充を期待する。

※レスパイト: 休息、息抜き

・かわまちづくり事業について、旧岡田倉庫の移転工事はほぼ完了したところであり、今後は、隣接する旧岡田邸の活用について、改修方法を検討することだが、舟運の歴史を後世に伝える大事な事業であることから、周辺環境との調和を図りながら進めることを期待する。

・スマート農業機械導入促進事業では、市として初めてともいえる農作業機械に対する導入費補助が示された。この事業は、基盤整備などと一体的に取り組まなければ、十分な効果を発揮できないものではあるが、今後も、最新技術の導入と物理的な課題の解決について、国や道に要望することを求める。

#### 反対

・生活保護制度は、健康で文化的な最低限度の生活を保障するものであり、物価高騰の下で生活が厳しくなる中、該当する方が制度の利用をためらうことのないように全国各地で分かりやすいポスターが作成されるなど、正しく情報を伝え、確実に利用していただくための、きめ細かな対応が行われている。市では、現時点では、ポスターを作る考えはないとされたが、新年度には、カラー化した見やすいしおりをつくるとのことであり、一定の努力はされているが、市民が安心して制度を利用できるように、細心の注意を払いながらの対応を求める。

### 生活保護



# 討論概要

## 国民健康保険特別会計予算

### 賛成

・早い段階からの電話連絡や、夜間・日曜などの納税相談の結果、滞納世帯数や資格証明書の交付世帯数が少しずつ減少している。

今後も個々の状況に合わせた丁寧かつきめ細やかな対応に努め、可能な限り被保険者への負担を考慮しながら、市民の健康と命を守る施策を充実させることを要望する。

### 反対

・条例改正により国民健康保険税が引き上げられることは、国保加入者にとって、物価高騰の下で生活を脅かしかねない厳しい状況である。また、短期証がなくなったことから、滞納した方への相談対応がこれまで以上に重要になる。

国民健康保険制度は、本来被保険者の生活を脅かすことのない安心できる制度であるべきだが、むしろ過重な負担となりかねない内容である。

## 後期高齢者医療特別会計予算

### 賛成

・後期高齢者医療制度は、国民皆保険制度の維持と世代間の負担の調整を図るための制度である。

今後、医療費はますます増大する見込みであり、世代間、地域間の医療費の格差解消を図らなければならないことから、国に対して、さらなる改善と整備を求めることを要望する。

### 反対

・マイナンバーカードと健康保険証は原則的に一体化されたものの、デジタル機器を使用することに不安を感じる高齢者は多く、国の政策に翻弄される状況は見過ごすことができないため、今後も丁寧な対応を求める。

## 介護保険特別会計予算

### 賛成

・督促状の送付やコールセンターからの電話、納付相談の実施など、段階に応じた丁寧な対応により保険料の滞納件数は年々減少している。

今後も、介護予防につながる施策を市民に周知するとともに、制度についての丁寧な説明を行い、必要としている方が適切な支援を受けることができるように努めることを要望する。

### 反対

・滞納件数は減少傾向だが、物価高騰の下で低所得者には保険料の負担は大きい。保険料の滞納によるサービスの給付制限を受けている方もいるが、制度本来の利用が制限されること自体が問題であり、高齢者等の暮らしを支える制度として不十分である。

## 水道事業会計予算

### 賛成

・料金請求方法の変更について丁寧な説明を行ったほか、道とラピダス社との協定内容を確認するなど、水道水の安全を守る取組が行われている。

インフラ設備の老朽化や世帯数の減少等による厳しい収支計画が見込まれているが、これまで以上の財源確保と設備投資計画に基づく取組を要望する。

### 反対

・水道料金を滞納し、一定期間連絡が取れない場合の給水停止措置が続けられており、調査では、生活に影響のない状況であることが確認されたが、ライフラインである水道を停止することは認めることができない。

また、これまで以上に支払い困難となることが想定されるため、丁寧な対応を求める。

## 病院事業会計予算

### 賛成

・江別市立病院経営強化プランの初年度から厳しい経営状態であるが、令和8年度に予定していた中間見直しを前倒すこととしており、医療機能と病床規模の最適化、病床稼働率向上の取組推進等を改定方針に掲げている。

公立病院は不採算とされる診療科をも担う役割があり、市と周辺地域の住民が安心して住み続けられるような医療提供体制の構築が重要である。

### 反対

・令和7年度上期での江別市立病院経営強化プランの見直し、病床数の適正化を実施するとともに、収支均衡を図るための具体的な方針を示した上での対応を求める。

不確定な医師確保に頼ることなく、現在の医療資源内で実力に応じた診療科の統廃合を図るなど、ダウンサイズの実行を求める。



## 議員が市政をただす

# 一般質問

今定例会では、10人の議員が一般質問を行いました。  
誌面の都合上、各議員が行った質問の中から、1人2項目を  
要約してお伝えいたします。

※二次元コードを読み取ると、一般質問の動画をご覧いただけ  
ます。

### 長期的な地域医療体制の確 保に向けた考え方は

**質問** 少子高齢化社会の中で、市内  
唯一の公立病院として市立病院は  
その役割をどう果たすべきか。

**答弁** 現在の市民はもちろんのこと、  
10年後、20年後を見据え、長期的な  
視点に立って、地域医療を確保して  
いくことが重要である。

特に、市の高齢化率は令和15年  
に37%を超えることが見込まれ、市  
全体で、健康寿命延伸に向けた認  
知症への対応に取り組む必要があ  
ることから、市立病院では、札幌医  
科大学と認知症医療の充実に向け  
た包括連携協定を締結して、医療  
連携を強化するなど、高齢者医療  
の充実を図っている。

あらゆる世代の市民が、安心して  
江別市に住み続けるためには、周産  
期医療から高齢者医療まで、幅広  
い分野で、可能な限り市内で対応で  
きる地域医療体制の構築を図るこ  
とが必要であり、市内唯一の公立  
病院である市立病院は、その中心  
的な役割を果たすべきものと考え  
ている。



民主・市民の会  
佐々木 聖子 議員



### 市内で完結する持続可能な医 療提供体制の構築に向けて

**質問** 地域の医療機関及び介護施  
設等との連携に向けた協議の場を、  
市長部局が主導して設置する必要  
があるのではないか。

**答弁** 可能な限り、市内で対応でき  
る地域医療体制を構築するため  
は、市内の医療機関はもちろん、介  
護・福祉分野の関係機関が、これま  
で以上に連携を強化することが重  
要である。

このため、令和7年度に予定して  
いる市立病院経営強化プランの中  
間見直しに当たっては、地域におい  
て質が高く効率的な医療提供体制  
を確保するため、市長部局が主導  
的な役割を果たす中で、地域医療  
連携の新たな枠組みづくりに取り  
組むこととした。

今後、市内の医  
療機関や介護・福  
祉分野の関係機関  
とも連携しながら、  
検討を進めていき  
たい。





公明党  
三吉 芳枝 議員  
みよし よしえ



### 授乳室でも安心して搾乳できる環境の整備を

**質問** 市内公共施設における授乳室の設置状況と搾乳環境の状況は。  
**答弁** 授乳期の母親の利用頻度が高い子育て支援センターや保健センターのほか、昨年リニューアルした旧町村農場など市が管理する7施設に授乳室を常設している。

また、市役所本庁舎では、保健室を授乳室として、公民館などでは応接室や会議室などを授乳室として利用することができるよう案内しているほか、各種イベント開催時には、必要に応じて、授乳スペースを確保するなどの対応を行っている。

なお、授乳室を常設している7施設のうち、子育て支援センターですくと子育てひろば「ほこあぼこ」では搾乳についての案内表示を行い、それ以外の5施設では、希望者には搾乳のみでも利用できるように案内している。

### 授乳室に搾乳できますマークの掲示を

**質問** 搾乳を必要とする女性が、一人でも安心して利用できる環境をどのように整え、周囲への理解を促進させていくのか。

**答弁** 出産した女性の中には、様々な理由から、搾乳を必要とする場合があり、こうした方々が安心して搾乳ができるように、社会全体の理解を深め、環境を整えていくことは大変重要であると認識している。

神奈川県では搾乳ができることを示すシンボルマークを作成の上、公共施設や商業施設の授乳室などへ掲示しており、趣旨に沿った目的であれば、県外の自治体や事業者など、誰でもマークを自由に使用できる。

市では、このマークを活用して市有施設にある授乳室に搾乳ができる旨の表示をするほか、ホームページなどでの周知に取り組みたい。



日本共産党議員団  
吉本 和子 議員  
よしもと かずこ



### 江別市地域公共交通計画にある2つの施策の状況と課題

**質問** 交通不便地域等における交通手段の確保と高齢者等の移動支援の検討状況は。

**答弁** 市では、江別市地域公共交通計画を策定し、持続可能な公共交通網の確保・維持に努めている。

現在、江北地区と豊幌地区で運行しているデマンド型交通について、新たに交通不便地域の自治会と導入可能性を検討しているが、実施に当たっては、地元で事業を支えるという意識の醸成が重要であるほか、既存の公共交通事業者との共存の道筋をどのようにつけるかが課題であると考えている。

また、高齢者等の移動支援については、クロスセクター・ベネフィットの考え方を取り入れながら、交通費助成の導入の可能性について検討しているが、今後も高齢者人口の増加が見込まれることから、高齢者福祉施策全般の事業費増加が予想されることが課題である。

### 小・中学校のトイレに生理用品を常備しては

**質問** 子どもを権利の主体として尊重し、児童生徒の意見を聴いた上で、小・中学校のトイレに生理用品を常備することを検討しては。

**答弁** 市では、子どもの意見を尊重しながら取組を進めることは、大変重要であると認識している。

また、市教委が行った市内の小・中学校の養護教諭に対する聞き取りでは、学校のトイレに生理用品の配置を望む児童生徒の声を直接聞いた学校はなかったものの、保健室で受け取ることをためらう児童生徒は一定数いると認識していることから、その実態把握は必要だと考えている。

市教委では、引き続き、保健室における心身の状態の把握に努めながら、児童生徒の意見を聴くための調査実施に向けた手法について検討していきたい。

このほか、国民健康保険税の滞納への対応について質問がありました。





えべつ地域創生の会  
ほんま けんいち  
本間 憲一 議員



### 耐震化が必要な市民会館の 在り方についての検討状況

**質問** 市民会館の在り方に関する直近の庁内での検討状況は。

**答弁** 市民会館は、昭和48年の供用開始から50年以上が経過し、設備の老朽化が進んでいるほか、耐震診断では、震度6強から7の地震に対する耐震性に疑問ありと判定されているため、今後の在り方の検討に当たり、昨年11月、市民会館に求める機能について、全庁的な調査を行った。

その結果、はたちのつどいや市内中学校の吹奏楽の演奏会など大規模なイベントを実施するため、収容人員1,000人規模の大ホールと、各種総会等や期日前投票のための収容人員250人規模の小ホールは、それぞれ必要であるとの集約結果となった。

この結果などを踏まえ、今後は、建て替えるとした場合の必要な機能や規模、事業手法、財源等について庁内での議論を進めるとともに、市民会館を利用してしている団体等の意見も伺いながら、検討を進めていきたい。

### 市民会館を建て替える場合 の財源や周辺土地の利活用

**質問** 新庁舎が竣工した後、周辺土地の利活用次第では、市の新しい顔、シンボリックな場所になり得るが、財源についての考えや、何か理想的なイメージなどを持っているか。

**答弁** 市民会館の在り方について検討する上で、建て替えるとした場合の事業手法や財源等のほか、建築場所も重要な検討項目の一つになる。

今後の検討に当たっては、市の財政状況を見極めながら、民間資金の活用の可能性なども含めて、必要な機能や事業手法、財源等について、議論を進めていきたい。

また、周辺土地の利活用については、今後、市民会館の在り方と並行して検討を行っていききたいが、国道12号からの視認性や住民ニーズ、周辺環境などを踏まえ、ゼロベースで検討していきたい。



政和会  
はが まさみ  
芳賀 理己 議員



### 市立病院での患者ファースト への対策

**質問** 市立病院の評価を向上させるために、患者ファーストのおもてなしを強化することについての考えは。

**答弁** 市立病院は、市民の健康の増進と福祉の向上のため、いたわりの心を持って患者本位の医療を提供することを理念として掲げており、これは、正に患者ファーストの考えであるとともに、医療従事者としての基本であるべきものと考えている。

令和6年度には、職員への公募により「YES」と応えて最高の病院に「をスローガンとし、まずは、相手の思いや考えを受け止め、誠意を持って接遇することで、最高の病院を目指そう」としており、この趣旨から、断らない医療の実践を職員一丸となつて進めているところである。

今後、いたわりの心を持って患者本位の医療を提供するための職場づくりを進めることで、患者ファーストにつなげ、市民・患者の皆様信頼される病院づくりを進めていきたい。

### 市立病院での医師の人材確保の考え方

**質問** 医師の確保・定着に不安を感じるが、江別で働き、このまちに貢献したいという方に来てもらうための発信など、人材確保の考えは。

**答弁** 市立病院では、内科診療体制の再構築に苦慮しており、医師招聘は最重要課題である。医科大学からの専門医の派遣が重要であることから、長期的な視点での関係強化に向け、令和5年度から医科大学との共同研究を開始したほか、様々な手段により医師招聘を進めている。

これまで、市立病院では、採用活動において市の魅力や特色についても紹介し、チームの一員として地域医療を支えていただける方を募集してきた。

今後、地元愛を持ち、江別で働きたいという人材も含めて、医師招聘の手法について、幅広く検討していきたい。







公明党  
いしかわ あさみ  
石川 麻美 議員



### 現世代と将来世代の双方の利益を考慮した意思決定を

**質問** 持続可能なまちづくりに向けて、フューチャー・デザインとバックキャストを組み合わせて活用しては。

**答弁** フューチャー・デザインは、様々な長期的課題に対し、現役世代だけでなく、その課題の影響が及ぶ将来世代の立場も踏まえて議論を行う取組であり、バックキャストは、将来像から逆算して、現時点で必要な行動や戦略を考える手法である。

これらは、将来世代に過度の負担を残さず現役世代と将来世代の双方にとつて最適となる政策を考える上で、有効な手法の一つであると考えている。

これまでに、長期的な視点に立つて政策を立案した例として、第7次江別市総合計画の策定があり、20年先の人口を推計した上で、10年後の将来都市像をつくり上げるために、多くの市民と議論を交わし、まちづくり政策や未来戦略に反映させてきたところである。

### 50年後の江別市を見据えて政策立案に新たな手法を

**質問** 現在の進め方よりもさらに先のことを見据えて考えるフューチャー・デザインの手法を取り入れるべきと考えるが見解は。

**答弁** 日々変化する社会経済情勢や情報技術の進歩など、近い未来でさえ見通すことが容易ではない近年の状況において、50年先の長期的な視点をを用いて策定すべき計画等の選定には、一定の判断が必要であることから、例えば、江別市DX推進方針では、その予測の困難性から計画期間を設けずに策定した。

しかしながら、公共施設等の管理計画のように、50年先など長期的な視点が必要となる計画もあるため、今後も、将来世代の視点を取り入れたフューチャー・デザインの際らなる活用に向け、情報収集に努めたい。



民主・市民の会  
ほしば よしこ  
干場 芳子 議員



### 水質事故発生時の対応協定の詳細内容の確認を

**質問** 市は、ラピダス社と水質事故緊急時の連絡体制を整備したことだが、道が同社と締結した協定の中で想定する周辺環境とは、大気をも含むものなのか否かを確認する必要があるのではないか。

**答弁** 道とラピダス社は、今年1月に水利用に関する協定を締結し、事故等により工場排水の水質や周辺環境に悪影響を生じさせるなどしたときは、直ちに必要な措置を講じ、対応状況等を道や関係自治体へ報告するとしている。

今後、関係自治体等と協定事項についての情報交換や意見交換をする連絡会議が開かれることとなっており、協定の具体的な内容が説明される予定であることから、詳細についても、その際に確認したいと考えている。

### 今後の学校給食運営直営調理の検討の余地は

**質問** 学校給食の在り方検討委員会では、今後の運営方式の案を2つに絞っているが、対雇調理場新築案において直営調理を検討する余地は残されているのか。

**答弁** 学校給食の在り方検討委員会では、これまで、児童生徒や保護者、教職員を対象に実施したアンケート結果や、サウンディング型市場調査による民間事業者から収集した情報などを基に、多角的な観点からの議論が行われてきた。

今後、市では、施設整備や調理方式などの運営体制について、同委員会の提言を受けた市教委からの報告を基に、検討を進めていく。

最終的な決定に当たっては、調理場の建設費や運営費、財政状況などを総合的に勘案した上で、判断しなければならぬものと考えている。





えべつ地域創生の会  
いのまた 猪股 美香 議員



### 若者支援の相談窓口 策定予定の計画に明記を

**質問** 悩みや不安を抱える若者の相談窓口は、子ども家庭部になるのか。また、それは、これから策定予定のことも計画に明記されるのか。

**答弁** 国のことも大綱では、子どもへの支援と若者への支援は密接に関連するものと位置づけており、市では、来年度、若者の施策を含むことも計画の策定を予定している。

具体的な施策として、就労支援や相談支援、青少年教育などがあり、今後、計画に基づき、各担当部署において取り組む予定であり、子ども家庭部では、若者の居場所や社会参画などの取組を進めていくほか、施策の推進状況についても、他部署と連携しながら進捗管理を行っていく。

また、この計画の中で、具体的な事業の検討を進めていくこととなることから、どのような取組をどの部署が担当のかについても、決めていくことになると考えている。

### 子どもに関する窓口の分散 相談者には多大な負担

**質問** 妊娠から出生の相談窓口が分かれており、子どもを連れての移動には多大な負担を伴うが、市の見解は。

**答弁** 子どもに関する相談や行政手続の窓口が分かれていることは、来庁される方の負担になっていると認識しており、市ではこれまで相談内容に応じて、障がいや生活保護、子育てなど複数の部署が連携して、1か所の窓口で対応するなど、切れ目のない相談や相談者の負担軽減を図る工夫をしている。

今後、庁舎建て替えに係るレイアウトの中で、各フロアの大まかな部署の配置や、窓口の利便性向上に向けた検討などに入ることから、子どもに関連した窓口の利便性向上についても、その中で検討していきたい。

このほか、孤独孤立対策推進法、江別市公共施設等総合管理計画について質問がありました。



### 精神疾患を抱える子育て世代 具体的な支援策は

**質問** 精神疾患を抱えながら子育てする方の相談体制の強化や、当事者同士が交流できる取組が必要と考えるが、市の見解は。

**答弁** 妊娠から子育て期のメンタルヘルスの問題は、誰にでも起こり得ると言われ、不調の早期発見のほか、不安や困りごとの解決に向けた支援が重要であり、当事者同士の交流も、有効な方法だと認識している。

市では、子育てサロンやあそびのひろばなどの親同士が交流できる場づくりに努めており、道が設置する精神障がい者地域生活支援センターでは、相談を受けるだけではなく、当事者であるピアサポーターによる支援が行われている。

精神疾患を抱える方も、心の負担が軽減され、安心して妊娠や子育てに向き合えることが、重要であることから、今後も、親同士の交流などの支援に工夫して取り組むとともに、必要に応じて当事者会などの情報を提供していきたい。

ピアサポーター…自らの障がいや疾病の経験を生かしながら、他の障がいや疾病のある方を支援する人

### 男性の産後鬱 情報の周知と支援の整備を

**質問** 母子保健事業の中にとどまらず、産後鬱を抱える男性への情報周知と支援の整備が必要と考えるが、市の見解は。

**答弁** 男性の育児参加が進む中、働きながら家事や育児を担うことで負担が大きくなり、精神的な不調により産後鬱になる父親がいることは認識している。

市では、日頃から、子育てや産後鬱などの健康に関する相談を受け、母子に限定せず、父親を含めた家族への支援に取り組んでおり、引き続き、母子保健事業の中で家族全体を支援していきたい。

なお、情報発信については、既存の母親向けのリーフレットに、男性の産後鬱の情報や相談先を追加するなど、工夫しながら周知を図っていききたい。

このほか、都市と農村の交流センターについて質問がありました。



公明党  
おさだ てるき 長田 旭輝 議員



市立病院の経営再建は、市として、早急に解決しなければならぬ喫緊の課題であると認識しており、今後においても、創意工夫の上、市民サービスに影響を与えることがないよう、適切に対応していきたい。

市では、これまで、経費の縮減や財源の確保に努め、不足する財源には、各種基金を活用することで、特定の歳出の増加が市民サービスに影響を与えることがないよう予算を編成してきたところである。

市では、これまで、経費の縮減や財源の確保に努め、不足する財源には、各種基金を活用することで、特定の歳出の増加が市民サービスに影響を与えることがないよう予算を編成してきたところである。

市立病院への支出が一般会計に与える影響はあまりにも大きく、それが長期に及んでいることから、これまでも市民サービスに影響なく、今後も影響ないと言えるのか。

### 市民サービスに影響しないか



えべつ地域創生の会  
たかなぎ  
高柳 理紗 議員



### 片耳難聴の子どもへ支援を

片耳難聴は、言語の習得期やコミュニケーション能力を育む時期には大きな障がいとなることから、補聴器助成制度の対象を拡充しては。

片耳難聴は支給対象外である。市では、軽度・中程度の難聴児に対し、道の自助具給付事業の補助制度を活用し、補聴器購入の支援を行っているが、道の補助制度も片耳難聴は対象外となっている。

今後、国や道などの統一の基準に基づいた支援を行うことが基本と考えているが、近年、他の自治体において、片耳難聴に対する補助を独自に実施している事例もあることから、まずは、他の自治体の取組状況などについて情報収集したい。

このほか、レジ袋の削減に向けた取組、高齢者運転免許証自主返納支援、物価高騰対応重点支援、地方創生臨時交付金について質問がありました。



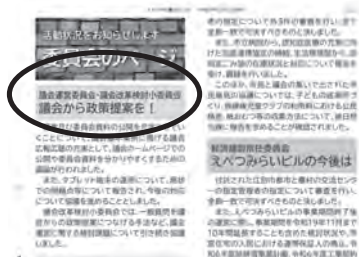
## 「議会だより」のリニューアル

昨年7月に議会だよりについての研修を受講し、議会だよりが市民の皆様にご覧いただきやすくなるように、リニューアルを行いましたので、一部をご紹介します。

### ①表紙のタイトルのフォントの変更



### ③委員会のページに内容見出しの追加



### ②一般質問ページに各議員の一般質問のYouTubeにつながる二次元コードの貼付



※大きな変更点として3点挙げさせていただきましたが、ほかにも徐々に変更していきますので、今後も、是非議会だよりを御覧ください。



## 議会運営委員会・議会改革検討小委員会 議会運営の課題を検討！

新庁舎建設に係る議会機能の検討について、傍聴席の床面をフラット形式とすることや30席程度を確保することを議会として市に要望しました。

また、一般質問を議会からの政策提案につなげる取組について及び議会としての政策形成サイクルの構築については、今後、実施していくことが確認されました。

そのほか、今定例会から議案のホームページでの公開を始めました。

議会改革検討小委員会では、議会モニター制度について、提案会派の委員から説明を受け引き続き協議を進めることになりました。

## 総務文教常任委員会 市民意見に関する調査を実施！

昨年11月に開催した市民と議会の集いで出された市民意見の調査を実施し、教育部から社会教育施設における子どもの放課後の居場所の現状について、企画政策部から現状を踏まえた今後のバス路線の在り方についての報告を受け、質疑を行いました。

また、付託された江別市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び江別市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について、原案のとおり可決すべきものと決しました。

## 生活福祉常任委員会 市民意見の調査結果は？

昨年11月開催の市民と議会の集いで出された市民意見を踏まえ、以下4点について担当

部局に報告を求め、調査を行いました。

①紙おむつ等の収集については、透明または半透明の袋での無料収集を実施する中で、しっかりと市民の声を聞くこと、②子どもの居場所づくりについては、今後中高生の居場所づくりも目指していくこと、③放課後児童クラブの利用料における公民格差については、引き続き是正に向けて検討していくこと、④パブリックコメントの手法については、さらなる利便性向上のため、二次元コード等の活用を検討することが確認されました。

## 経済建設常任委員会 下水道管の緊急点検結果は？

水道部から埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故を受けて江別浄化センターにつながる下水道管の緊急点検を行った結果、異常がなかったとの報告を受けました。

また、付託された江別市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について、江別市水道事業に係る布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例等の一部を改正する条例の制定についての議案2件の審査を行い、いずれも全員一致で可決すべきものと決しました。

## 議会広報広聴委員会 分かりやすい議会だよりへ！

一般質問ページを改善し、第159号から一般質問の動画につながる二次元コードを貼付したほか、第160号から写真やイラストを掲載しています。

また、昨年11月に開催した市民と議会の集いの報告書を、市議会ホームページへ掲載したほか、市内公共施設等にも配置しましたので、ぜひ御覧ください。

今後も、市民の皆様にとって分かりやすい誌面づくりや魅力ある市民と議会の集いを目指して協議を進めることについて、次期委員会へ申し送ることを確認しました。